

7. その他の試験研究 SP商品のデザイン開発

兵頭敬一郎、佐藤幸志郎

1. 目的

近年、商品と共に商品に付随した小物をセールス・プロモーション（SP）に利用することで、より一層商品イメージを購買者に深く印象付ける方法が用いられ、SP商品と呼ばれるものが多く作られている。今回県内の竹製品製造企業から竹を使ったSP商品の開発について指導依頼があり、着物の販売店用のSP商品として、ぽっくり下駄をアレンジしたノベルティをデザイン試作し、検討した。

2. 方法

商品開発について以下の項目により検討した。

2.1 形状と寸法

既存のぽっくり下駄の形状・寸法を参考に手のひらサイズにミニチュア化した。

2.2 色彩及び加飾

コンピュータに形状及び加飾パターンを取り込み、カラーシミュレーションを行った。（写真1）

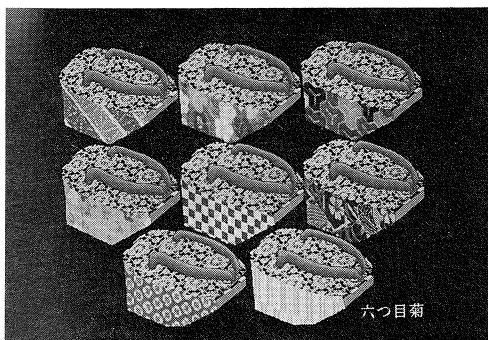


写真1. コンピュータ・シミュレーション

2.3 モデリング試作

コンピュータ画面上で検討したデザインのの中から試作検討すべきものを選び実際に製作した。（写真2）

2.4 その他新提案等

商品として展開するうえで以下のことも同時に提案した。

- (1) 着物収納時に使用できるよう防虫機能を付加して商品化をはかる。
- (2) パッケージングによりギフトノベルティとしての商品化をはかる。

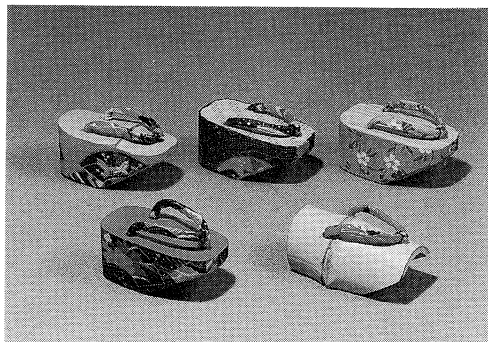


写真2. 実際に製作した試作品

3. 結果及び考察

依頼のあった企業に、アイデアスケッチ及びコンピュータ画面のカラーシミュレーションを通してデザインプロセスを説明すると共に、モデリングした試作品を提出した。現在商品化へ向けて具体的な検討に入っており、このデザイン試作が商品開発上の有効な提案となった。

従来分野の商品以外に、このような商品開発の事例が増加するものと予想される。これらに対応するためにもコンピュータによるシミュレーションは有効であり、デザイン試作上今回の指導事例が今後関連する業界にも大いに参考になるものと思われる。